

随意契約結果書

物品等の名称及び数量	令和7年度大規模な洪水攪乱下での河川構造の複雑性の機能と河川生態系の保全・回復に関する研究
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 筑後川河川事務所長 塚 原 隆 夫 福岡県久留米市高野一丁目2番1号
契 約 締 結 日	令和 7 年 6 月 6 日
契約の相手方の氏名及び住所	国立大学法人 九州大学
契約金額 (消費税及び地方消費税含む)	¥ 1 4 , 8 7 2 , 0 0 0 -
予定価格 (消費税及び地方消費税含む)	¥ 0 -
随意契約によることとした理由	別紙のとおり
備 考	

随意契約理由書

1. 件 名： 大規模な洪水攪乱下での河川構造の複雑性の機能と河川生態系の保全・回復に関する研究
2. 履行場所：福岡県久留米市高野1丁目2番1号（九州地方整備局 筑後川河川事務所）
3. 随意契約の相手方：福岡県福岡市西区元岡 744
国立大学法人九州大学 総長 石橋 達朗
092-642-2111
4. 随意契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第3号

5. 当該業務の目的・内容及び随意契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本委託業務は、大規模な洪水攪乱後の生態系回復プロセスを解明のために流域内において発生した攪乱形態が類似した平成29年九州北部豪雨（短期時間軸）、1720年の享保水害（長期時間軸）を生態学、郷土史学的手法を用いた調査を実施、比較することにより、回復プロセスの概要解明を行うものである。また、激甚化した災害レベルでも生態系回復のソースとなりうる空間構造を特定することを目的とする。また、災害復旧等の河川改修の影響を明らかにし、災害復旧の在り方について検討し、提言する。

2) 業務の内容

本委託業務は、令和2年度のFS研究及び令和3～6年度の一般研究を踏まえ、回復プロセスの概要解明等に必要な以下の調査・検討を実施する。

- ①令和5年豪雨を含めた広域影響評価と回復過程の追跡（両地域を含む）
- ②平成29年豪雨と令和5年豪雨の影響の比較（右岸・左岸支流）
- ③遺伝的多様性による影響評価と回復過程の追跡（両地域を含む）
- ④花崗岩河川における令和5年豪雨後の回復過程の追跡（赤谷川等）
- ⑤平成29年豪雨被災河川の河川改修後の生物の回復（右岸支流）
- ⑥河川生態系の回復基盤・河川改修手法の提案に向けた他河川・他地域調査・解析
- ⑦種の保存法指定種セボシタビラの再導入とモニタリング

3) 随意契約に付する理由

本委託業務は、令和2年度に、有識者で構成される評価委員会の審査を経て、河川砂防技術研究開発公募地域課題分野（河川生態）一般研究（移行課題）に採択され、委託先（九州大学大学院農学研究院（鬼倉徳雄）を研究代表者とする共同研究体）として選定され、委託契約を行うよう水管理・国土保全局長より通知されたものである。なお、令和6年度末の中間評価結果において、「令和7年度一般研究（継続）として採択する。」と審議されている。^①

以上のことから、本業務は会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第3号の規定により、随意契約するものである。

（随意契約理由作成者）

筑後川河川事務所 河川環境課長